



自治会のはじまり

浜地区に人が住むようになったのは戦前で、当時軍需産業の工場ができて技術者などが居住したのが最初でした。昭和31年に現あっとほーむ萩地に町営住宅が建設され、さらに昭和38年には草の根ハウス北側にも20戸が建設されました。当時は南浜住宅、北浜住宅と呼ばれ自治会活動が始まりました。

草の根ハウスの建設

両自治会とも、環境改善や行政からの依頼事項などの話し合いがされ、また親睦のために花見会や町内旅行などで住民同士の連帯意識の向上が図られました。年が経つにつれ、南浜自治会では集会施設の要望が高まり、古いバスの払い下げを受けました。そして、昭和50年頃、草の根ハウス建設補助制度が始まったことから両地区で建設委員会が結成されました。資金も土地もない中、住民の熱意により補助金が大幅に上積みされ昭和54年に現在の「草の根ハウス」が完成しました。

自治会の合併

「草の根ハウス」の完成を契機に、南浜・北浜住民の交流が更に活発となりました。当時の世帯数は南浜46世帯、北浜20世帯で総人口は197人でした。また、両自治会共同事業として大溝祭りの子供神輿巡行・夏祭り・文化祭・スポーツ活動、町民運動会への参加など住民交流の機会も増えていきました。大溝祭りでは日吉神社のお神輿をお迎えし、自治会を練り歩いて子供達の健康と成長を祝いました。そして、平成15年には主に南浜自治会員のご寄付により、絢爛豪華な子供神輿が納入され神輿蔵も完成しました。

萩の浜自治会の誕生

平成17年の高島市合併時には自主防災組織も発足し、また両自治会の活動効率化を目的として勝野第二区の区長の立会いのもと合併協定調印式が行われ、平成18年度より「萩の浜自治会」として再スタート。現在は5組、121世帯で活動しています。



萩の浜自治会文化祭(防災講習)風景



こども神輿(お祭り)風景

高島地域 伝言板

認可地縁団体の代表者交代について

認可地縁団体となっている区・自治会の代表者(区長・自治会長)が交代する場合、代表者交代を決議した総会の議事録を添付して市役所・市民生活部・市民協働課に届出が必要です。ご注意ください。



4月の開館予定

4月		相談員	
1	月	休館	
2	火		↑
3	水	★ 井上 修三	
4	木		↓
5	金	★ 清水 良恵	
6	土		↑
7	日	★ 川島 清治	
8	月	休館	
9	火		↑
10	水	★ 仁賀 定夫	
11	木		↓
12	金	★ 竹中 寛	
13	土		↑
14	日	★ 中村 真奈美	
15	月	休館	
16	火		↑
17	水	★ 藪内 キヨ子	
18	木		↓
19	金	★ 山田 善嗣	
20	土		↑
21	日	★ 廣坂 吉憲	
22	月	休館	
23	火		↑
24	水	★ 西川 孝	
25	木		↓
26	金	★ 横田 久夫	
27	土		↑
28	日	★ 加藤 幸江	
29	月	休館(昭和の日)	
30	火	休館(振替休日)	

お越しの際はお電話ください



【開館】火～日(月・祝休館)

- ・【火～土 9～13時】パソコン入力などのお手伝い
- ★【水・金・日 10～13時】相談日

サポートリングたかしま

高島地域住民自治協議会

☎090-2115-9055

[9-13時 月・祝休館]

✉ takashima.juminzichikyoku@gmail.com

高島公民館2F 図書室となり
(高島市勝野670番地)

区・自治会の困りごと、一緒に考えお手伝いします

サポートリング∞たかしま

高島地域住民自治協議会だより〈No.25〉

中面特集



みんなで考える 日々のお買い物事情



近年、各地域の生活を支えてきた身近なお店の撤退やバス路線の見直しなど、日常の買い物や生活に必要なサービスを受けることが困難になってきています。

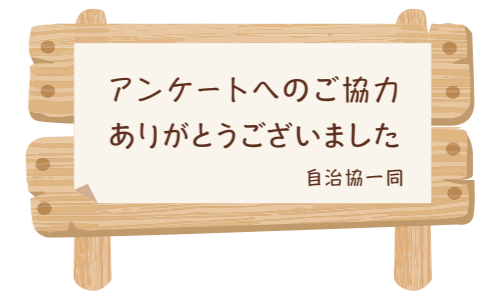
高島地域においても、このような事例がすでに起こっており、「買い物弱者」の支援は高齢者などが地域で暮らし続けるために欠かせない課題となっています。

また、高島地域住民自治協議会の相談窓口にも、買い物環境に関する相談が寄せられているものの、高齢者などの方々が置かれている買い物環境の実態は把握されていません。

こうしたことから、日常における買い物に困難が生じている状況を的確に把握し、今後の買い物環境の改善につなげるため、高島地域の全世帯を対象にアンケート調

査を実施し、この度、アンケート結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

アンケート実施に際しましては、多くの方々から貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。皆さまからお寄せいただいた貴重なご意見・ご要望をもとに、高島地域に相応しい「買い物弱者」支援の方法を探りたいと考えています。【中面へ続く】



高島地域で活動する団体紹介

『高島』ママさんバレーボール

ママさんバレーボール『高島』チームは、昭和50年代に旧高島町のバレーボール好きの人が集まり、昭和51年に湖西ママさんバレーボール連盟(旧湖西地区家庭婦人バレーボール連盟)発足に『高島チーム』として加盟しました。今の70代、80代の先輩方が作ったチームを受け継ぎ、今は20代～60代のママさん、ババさん(笑)幅広い年齢層で、週一度土曜日にB&G海洋センター体育館で練習をしております。今は高島地域(旧高島町)には1チームしか無いのですが、湖西ママさんバレーボール連盟には18チーム加盟されています。

高島市の大会は年に4回あり、常に優勝目指して、楽しく、和気あいあいとバレーをしております。滋賀県ママさんバレーボール連盟の大会にも『高島』チームとして予選を勝ち、県大会にも出場しています。

全国ママさんバレーボール連盟の大会には、55歳以上のいそじ、65歳以上のことぶき、70歳以上のおふく大会があり80歳以上の方も出場し、大いに盛り上がり、バレーボールも生涯スポーツになっております。

バレーボール経験のある方、体を動かしてスポーツを楽しみたい方、お待ちしております♪





みんなで考える 日々のお買い物事情



買い物環境等に関するアンケート調査の結果

今回のアンケートは、食料品や日用品の購入方法、移動手段などの購買行動に関する事項のほか、買い物環境の利便性向上のために重要となる地域のお店に対する利用状況や要望について調査しました。

やはり、多くの方が近くにお店がないことに不便を感じておられます。今は自動車やバイクが運転できるが、5年後、10年後を考えたとき不安に思っておられる方は非常に多く、買い物に困っている人々への対策の重要性を改めて感じるところです。

特に、高齢者の一人暮らし世帯や高齢者のみの世帯は、家族の協力が得られにくいいため、唯一の移動手段であるバスや電車などを利用するにも交通の便が悪いことで、移動販売や生協などの宅配サービスを利用しているとの回答が多く寄せられています。

買い物環境を改善するには時間を要しますが、まずはできることから始めていく必要があります。今後、高齢者世帯が増えてくることを想定すると、宅配サービスや移動販売、お店で買った商品の配達サービス、送迎サービスなどの買い物支援サービスの充実が望まれるところです。

一方で、買い物は商品を単に買うだけでなく、選ぶ楽しみもあり、お店が情報交換の場、交流の場、暮らしの拠点となっていることも忘れてはなりません。

今回のアンケートで、多くの方が近くにお店を誘致してほしいと望まれています。しかし、例えば、地域の空き店舗や空きスペースを利用して、近隣のお店や直売所などの協力のもとで、日曜朝市のような店舗展開も一つの方法であると考えます。

今後、アンケート結果をさらに分析して住民自治協議会として何ができるのか、何をすべきなのか検討を進めていきたいと思えます。



お買いもの便利情報

地元育ちの新鮮なお野菜あります♪



移動販売車

JALEEK滋賀では移動販売店舗事業を行っています。移動販売車でご自宅に伺い、お買い物いただけます。電話にてお問い合わせください。

【問い合わせ先】

JALEEK滋賀生活購買部
生活課 Aコーパネス
電話：0740-25-5533
(※月曜定休)



宅配サービス

平和堂あどがわ店には、自宅からFAX/電話で注文できて玄関先まで届けてくれる「ホーム・サポートサービス」があります。お店で取り扱っている商品（テナント店を除く）なら冷凍冷蔵問わず注文可能！事前の会員登録が必要ですので、平和堂あどがわ店にご相談を。（電話：0740-32-2411）



野菜の店頭販売

滋賀銀行高島支店の斜め向かいにあるキッチン付シェアスペース「白湖」で週2回季節の野菜販売を行っています。

販売日 | 月・火

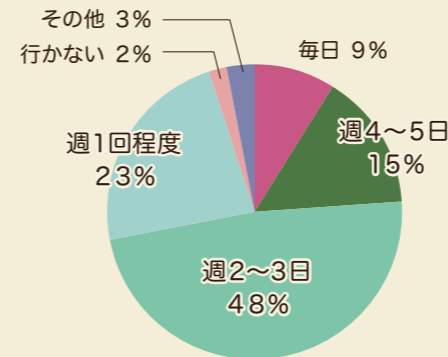
時間 | 11時半～15時

場所 | 勝野1229

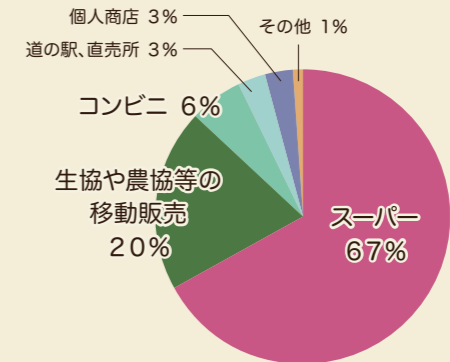
インスタグラム | hako_takashima



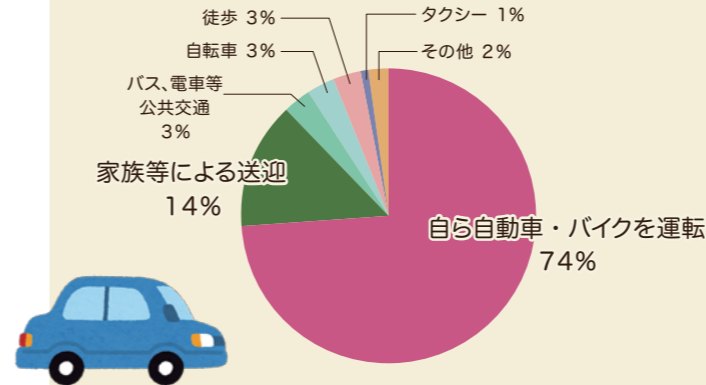
買い物に出かける回数



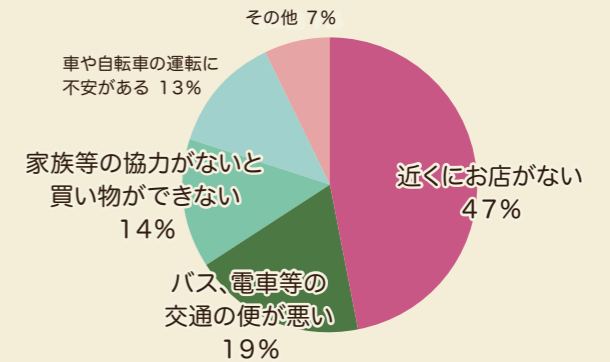
買い物で最もよく利用する店



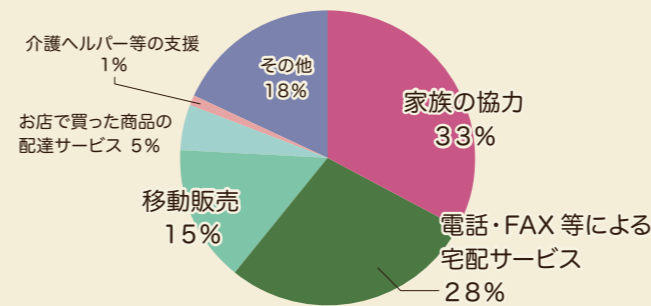
よく利用する店までの移動手段



食料品や日用品の買い物において不便や不安を感じていること

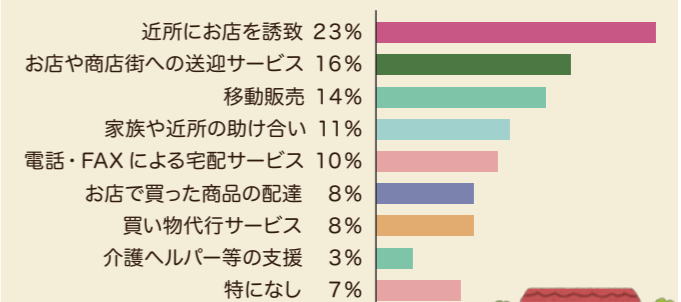


現在何らかのお買い物サービスを利用されていますか？



《その他の意見》・インターネット通販・利用していない

今後お買い物環境をよくするために何が必要ですか？



《調査対象》高島地域の全世帯対象、回収率47.07%

《調査時期》令和6年1月

《調査目的》買物行動の実態を明らかにするとともに、買い物支援がどれほど必要なのか、どのような買い物支援が望まれているのかを調査

《留意点》

・比率は、すべて小数点以下を四捨五入しているため、比率の合計が100%とならない場合があります。

・複数回答の場合、比率の合計が100%を超える場合があります。